



～ 感動の第52回卒業式 !! ～

第52回卒業式が3月1日(金)に行われました。忙しい中、来賓で参加していただいたPTA会長 川口千賀子様、同窓会長 上江洲仁吉様、後援会長 護得久朝文様はじめ学校評議員のみなさま、同窓会のみなさま、PTA評議員のみなさま本当にありがとうございました。おかげさまで手前味噌ながら本当にすばらしい卒業式を終えることができました。



52期生394名の卒業証書授与はとても感動的でした。ひとり一人の顔を見ながら手渡すと、様々なことが思い起こされてきました。“日頃部活で頑張っていたな”“リーダーとして頑張ってくれてたな”“いつもさわやかに挨拶してくれたな”“よく生徒指導でやさしくしていたな”等々。400名近い授与なのでなるべく時間短縮をしなければならず、名前を読んで「おめでとう」のみの声かけだけでしたが、しっかり目を合わせ「祝福」の気持ちを込めました。

特に、保護者のみなさまや来賓のみなさまに褒められたのは生徒会による第2部「卒業式を祝う」でした。演劇部の朗読、先生方からのメッセージ、圧巻だったのは在校生によるダンスはまさに浦高生の団結と底力を見たように思います。この演出は他校ではなかなか見られないと自負しています。在校生のみなさん本当にお疲れ様でした。そして、感動をありがとうございました。式典は厳かな中にも華やかに、第2部は浦高らしく生徒ひとり一人が団結し、卒業生をみんなで祝い、送り出そうという心のこもった内容でした。このような卒業式を行うことができ、支えてくれた生徒会のみなさんにも深く感謝しています。

第52期卒業生の心に残るすばらしい思い出になれば幸いに思います。そして、これからも浦高卒業生として勇気と誇りを持って歩んで行くことを願っています。 校長

●最高の修学旅行●

3月4日～8日まで2年生は修学旅行がありました。富岡製糸場跡、スキー実習、自由研修及び東京ディズニーランド等どれも貴重な経験になったと思います。

1日目(長野県)にいきなり浦高のバスと自動車の接触事故があり肝を冷やしましたが、不幸中の幸いで生徒、職員のケガ等もなくほっと胸をなで下ろしました。しかし、不謹慎かもしれませんがこれもひとつの勉強になったのではないかと思います。

バスは雪道に備え全号車スタッドレスタイヤを装着し、登り坂をゆっくり走行しておりましたが、対向車の乗用車は凍結によるスリップでカーブを曲がりきれず衝突したということです。凍結した道路というのは沖縄では経験しませんが、他の都道府県ではこういうことも起こり得るのです。

とにもかくにも、生徒全員が無事に帰ったことに最高の喜びを感じています。また、この機会を通して友情がさらに深まり、これからの学校生活が豊かなものになることを切に願っています。 校長

\*\*\* 校長雑感 \*\*\*

1学年集会で音楽選択クラスの合唱発表があった。「未来へ」は特に感動した。あのハーモニーはとても授業だけで仕上げたと思えないほどの出来映えだった。みんな真剣にそして真摯に向き合っている姿勢がさらに感動を呼んだ。浦高生の無限の可能性をここでも見られてとても嬉しかった。何をやらせても素晴らしい結果に結びつける力があると感じた。

～～～ 時の言葉 ～～～



松岡修造 (元プロテニス選手)

「よく、時間が解決してくれると言うけれど、そうは思わない。でも、行動した時間なら解決してくれるはずだ。」

来月からいよいよ新学年度の到来です。前号でも触れましたが、自分探しを始めないといつまでたっても何をしていいのか分かりません。また、進路も定まりません。「大学に行く」「専門学校に行く」と漠然と考えるのではなく、具体的に〇〇大学の△△学部と言えるように行動あるのみです。たくさんの情報を頭に入れてください。進路室は情報の宝庫ですよ。 校長

～ ボランティア活動 ～

校長室の入り口の上にボランティア活動に対する表彰状があります。浦添高校へは自治体や保育園等から“ボランティアの協力願い”が多数きます。その都度、顧問の酒井文先生からボランティア募集の連絡があります。

様々な会合や場所で「浦添高校の生徒たちにいつもボランティアでお世話になっています」と声をかけられます。「おかげさまで行事が無事に行われました」「ほんとうに一生懸命やってくれました」等お褒めの言葉をいただきます。

世の中で一番尊いものは“奉仕の精神である”と言われていました。浦高生はさまざまな場所でその活動を行っています。私の誇りです。 校長